

大湊区 第54号

地域協議会だより

発行日 令和5年7月25日
 発行 大湊区地域協議会
 会長 佐藤 忠治
 編集 会報編集委員会
 事務局 大湊区総合事務所
 総務・地域振興グループ
 電話 534-2111

地域政策課へ
提出

大湊区における『地域活性化の方向性』

大湊区における「地域活性化の方向性」

《大湊区の地域活性化に向けて》

自然をいかし、いのちを活かす
心なごむ潮騒のまち大湊を育む

構成要素

	内容	分類
①	生活に潤いを与える大切な環境財産として、大湊の水と緑を守り育てる	自然と調和のとれた居住環境の整備
②	鵜の浜温泉、北國街道・湊町宿をはじめとする大湊の歴史遺産や観光資源の魅力を発信	地域の魅力の向上
③	小山作之助をはじめ、地域で活躍した人々の偉業を後世に継承	偉人
④	住民活動やスポーツ・文化活動の中で育まれた住民相互の交流をまちづくりへの参画へと繋げる	まちづくり
⑤	元気で長生きを目指すため、いきいきサロンをはじめとした生きがいづくりや健康管理の充実	福祉



令和5年度第一回大湊区地域協議会において、大湊区における『地域活性化の方向性』について審議し、決定しました。

『地域活性化の方向性』とは、地域協議会が地域の活力の向上に向けた議論を進めるにあたり、委員間の

自然をいかし、いのちを活かす
心なごむ潮騒のまち大湊を育む

認識の共有はもとより、地域協議会と市の共有を図るとも、市における取組の企画の参考とするため、地域において特に重視したいこと、大切にしたいことについて担当課からの要請を受けて作成したものです。



鵜の浜人魚館サポーターズクラブ発足

利活用の促進ために 地域住民が協力

5月27日(土)大潟区の温浴施設『大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館』において、人魚館の運営をお手伝いするボランティア団体「人魚館サポーターズクラブ」の設立総会が行なわれました。

ネクストリゾート上越(株)社長、大潟区総合事務所長、大潟商工会長をはじめ、大潟区の各住民団体、地元の人魚館サポーターズクラブが来賓として参列されました。

大潟区地域協議会では、自主的審議事項のテーマとして鵜の浜人魚館の利活用の促進について検討してきました。協議を重ね、市長へ意見書を提出しました。

その中で有志5人が、「地域の宝として住民に親しまれる施設を目指し、人魚館の活性化を応援しよう。」と人魚館サポーターズクラブ準備会を立ち上げました。まずは賛同していただける仲間を集めようと「人魚館サポーター募集!」のチラシを作成し、大潟区内の全世帯に呼びかけました。また、人魚館にはポスターを掲示し活動を開始しました。

準備会の呼びかけにより、設立総会までに32人の会員が集まりました。

設立総会では、準備会設立の経過の報告、議案の提案、質疑応答・意見交換を経て、正式な発足が満場一致で決定いたしました。

なお、8月に臨時総会を開催して、会計監査の設置や4つの部会の活動の具体化を協議する予定となっております。

皆様のご理解、ご支援をよろしくお願い致します。

サポーターズクラブ組織体制

■部会と事業内容

- 環境整備関係部会
施設内外の環境整備
- 健康教室関係部会
健康教室の企画・運営
- イベント関係部会
イベント等の企画・運営
- 情報発信関係部会
SNSなど情報発信、PR事業



活動第1弾 草刈りに協力

6月27日(火)、人魚館の休館日にあわせて、人魚館の職員と共に駐車場脇の公園内の草刈りを実施しました。

当日の早朝は強い雨で作業が危ぶまりましたが、予定より30分遅れて作業を開始し、休憩を挟み1時間30分かけて草刈りと収集作業を行いました。

人魚館職員5人とサポーターズクラブの環境整備部会7人が参加し、各々持参した草刈り機で作業に取り組みました。

いつもは、職員2〜3人で広い敷地の草刈りをやっていると感じたようです。大勢で作業を行うと短時間でみるみる綺麗になっていくのは驚きでした。



人魚館サポーター募集！

人魚館サポーターズクラブの目的は、人魚館を「地域の宝」として残していくために、大湊区をはじめ近隣住民など多くの方たちが関わる機会を作ることです。

設立がゴールではなく、ここからがスタートです。

地域の中だけでなく、周辺と連携して支援体制をつくり、多くの市民のよりどころとなれるよう、様々な機会に市民の声を反映できる努力をしていこうと考えています。

人魚館を盛り上げていくため、多くの皆様のボランティア登録を待ちしています。

○活動場所

人魚館の内部・及び敷地内周辺

○対象

大湊区在住・在勤・通学者
年齢や性別は問いません

○活動内容

草刈り、花植え、イベントの企画、SNS等による情報発信、簡単な修繕作業

○会費

5000円（ボランティア保険加入費等となります）

○問い合わせ・登録受付先

☎025・534・6211
人魚館・小山、水澤

地域自治の推進に向けたアンケート調査への協力

市では地域のことは地域で決めて、地域で実行する仕組みの強化に取り組んでおり、このことについて町内会長協議会他各団体にアンケート調査の協力依頼がありました。報告は任意でしたが、各区の地域協議会にも同様に依頼があり報告は必須でした。

内容については、

- ① 地域の活動を充実させるため必要なこと、地域を活性化するための具体的なアイデアについて
- ② 地域協議会についての役割、問題点や課題、人材、地域の多様な意見の把握方法について
- ③ 総合事務所・まちづくりセンターの役割への期待、機能、地域との関わり方
- ④ 地域自治区の区域について
- ⑤ 地域の独自予算について

どれも現状は厳しく頭を悩ませる問題ばかりであり、各委員も頭を捻りながらの協力でした。

どの地区においても少子高齢化が進み、地域の活力を上げるどころか維持するのが精一杯であると思われまふ。

みんなで作え、みんなで動きましょう。



地域独自の予算を活用して皆さんの地域への思いをかたちにしませんか



地域の課題を解決し、活力の向上を図るため、今年度から地域独自の予算を活用した取組を実施しています。令和5年度に大湊区では、「大湊区散策ルート作成事業」、「鵜の浜温泉色彩音楽花火事業」が実施されます。

地域独自の予算の提案は、年間を通じて随時受け付けています。

（令和6年度の取組の受付は8月末までです。）

地域の資源を活用した取組や、地域の暮らしやすさにつながる取組を考えている場合には、お気軽に大湊区総合事務所総務・地域振興グループへご相談ください。地域と市が一緒に企画を練り上げて取組を実施します。

提案できる団体

- 市内で活動する団体及び法人
（政治活動や宗教活動を目的とする団体等は含みません）
- 地域協議会

補助率の上限

対象経費の
10分の7を支援します
（金額の上限なし）

自主的審議事項

大潟野外活動施設の
今後の活用について

令和5年度第2回大潟区地域協議会において、委員から提案された11項目の自主的審議事項のテーマの中から、1つを選定する審議を行いました。その結果、「大潟野外活動施設の今後の活用について」とすることを決定しました。

第3回大潟区地域協議会では、市から「施設の利用状況について」の説明を受けた後、2グループに分かれて討議を開始しました。

当該施設は、大潟区の観光・教育の主要施設としての役割を果たしてきましたが、開設後約40年が経過し、遊具の老朽化が進んでいる現状です。なお、第4次上越市公の施設の適正配置計画において、地域団体へ貸付又は譲渡するとの方向性が示されています。現在、指定管理を行なっている大潟観光協会が、施設の現状を踏まえ、貸付又は譲渡を受けて協会の事業として実施可能かどうかを検討中との報告がありました。



大潟野外活動施設
現地視察

昨年度、大潟町小学校の4年生の皆さんが「みりよくがたくさん大潟キャンプ場」として作成したリーフレットが、公の施設に配置されています。

大潟区地域協議会の開催状況（令和5年4月～令和5年6月）

第1回	4月27日 (木)	①地域活性化の方向性について ②自主的審議事項について ③（仮）人魚館サポーターズクラブ準備会からの報告
第2回	5月25日 (木)	①自主的審議事項について ②地域自治の推進に向けたアンケート調査について ③（仮）人魚館サポーターズクラブ準備会からの報告 ④市議会議員との意見交換会について
第3回	6月22日 (木)	①第2次上越市総合交通計画後期計画の策定について ②自主的審議事項について「大潟野外活動施設の今後の活用について」 ③人魚館サポーターズクラブからの報告

視察・勉強会・研修会などの開催状況（令和5年4月～令和5年6月）

自主的審議事項における 現地視察	6月18日（日） 20日（火）	大潟野外活動施設の視察（大潟区四ツ屋浜）
---------------------	--------------------	----------------------

地域協議会を
傍聴しませんか？

地域協議会は、どなたでも自由に傍聴することができます。開催日程は防災行政無線でお知らせします。お気軽にお越しください。

詳細は大潟区総務・地域振興グループへお問い合わせください。

☎ 025・534・2111



編集後記

▼コロナ5類感染症に移行してから、各地域・職場で行事や暑気払い・納涼会が開催され活気が少しずつ戻ってきたような気がします▼しかしながらコロナがなくなっただけではありません。今まで通り、マスク着用とうがい・手洗いを励行しましょう▼地域協議会では、新たな自主的審議事項「大潟野外活動施設の今後の活用について」の協議に入りました▼任期最後の自主的審議事項になるかもしれないので、地域活性化に役立てるまとめになればと思っています▼それには、地域協議会も意思の疎通を目的とした懇親会をすべきかな？
(金澤信夫)

編集委員

金澤信夫・五十嵐公子
五十嵐郁代・俵木晴之